

羽 沢

令和元年 6月号
横浜市立羽沢小学校
学校長 田屋多恵子

(E) 笑顔いっぱい (S) 健やかいっぱい (D) 大好き羽沢の人とまち

羽沢小学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hazawa/>



心の年輪を刻む

校長 田屋 多恵子

春の運動会が終わりました。家庭訪問が終了してからの短期間の練習でしたが、練習の間、学校全体が子どもたちの「やる気」のエネルギーで溢れていました。休み時間の開閉会式の練習、低学年の「みんな一緒にやってみよう～はざわ英雄メドレー～」や中学年の「MEISEI～昭和から令和へ～」、高学年「HAZAWA'S SORAN」そして団体競技の練習等です。また、放課後の応援団やリレーの練習にも力が入りました。

さて、からだの成長には「食べ物の栄養」がバランスよく必要なように、心の成長にも「栄養」が必要です。子どもたちはからだと同じように心も「栄養」を取って大きくなっています。運動会を通して、少しつらいこと、悲しいこと、がんばったこと、うれしかったこと、感動したこと、がっかりしたこと、ほっとしたこと、笑ったこと等、いろいろな気持ちを感じることで「心の栄養」だと思っています。子どもたちは、運動会に向けて毎日いろいろなことを頑張ったり、挑戦したりすることができました。「無理かな」「失敗したらどうしよう」としり込みするのではなく、積極的に行動することができました。今年の運動会は令和初めての運動会になりました。からだの成長も心の成長も、木が一年ごとに生長してきたことを示す「年輪」に似ています。年輪のある木は折れにくく、年輪のない木は折れやすいといえます。羽沢小学校の一人一人は運動会を通してしっかりした年輪を刻み、心もからだも成長することができたと思います。今年の運動会は終わりましたが、次年度は、創立50周年となります、大きな節目の年に向けてまた、子どもたちが「心の栄養」をたくさんとって年輪を刻んでいけるよう学校も努力していきたいと思っています。また、学校の一年間がスタートしたばかりの運動会で、PTAの本部役員の方、また各委員会の方々のご協力のおかげで運動会が実施できましたことに感謝申し上げます。今年は神奈川区の会長校でもあり、区P連の事務局も同時に運営してくださっております。様々な場面でPTAの役員の方のご尽力があることもお伝えしておきます。日々の学校教育活動へのご理解ご協力に感謝申し上げます。

ーお知らせー 6月17日(月)「横浜夢座」が羽沢小にきてくださいます。

本校にプログラミングの教育への支援をしてくださっているNPO法人「横浜すばいす」の古川美千代先生(元都岡中学校長)のご紹介で、6月17日(月)の3・4校時に五大路子さんが、座長を務められている「横浜夢座」による朗読劇「真昼の夕焼け」が羽沢小学校の体育館で上演されます。遠い記憶になってしまいつつある横浜大空襲を題材とした朗読劇です。プロによる臨場感溢れる朗読劇を聴き、今は平和なまち横浜で、昔何があったのかについて学ぶことは貴重な経験になると考えます。対象は5年生と6年生ですが、今後の歴史学習につなげたり、ESDのSDGs目標16(平和と公正をすべての人に)につなげていければと考えます。